

指定管理者モニタリングシート

令和4年5月(令和3年度実績)

施設名	刈谷市つくし作業所
主管部課等名	福祉健康部福祉総務課

(1)概要

指定管理者	社会福祉法人観寿々会		
指定期間	H26.4.1~R6.3.31	指定方法	公募
管理業務の内容	施設の管理運営に関する業務、就労継続B型支援事業及び地域生活支援事業(レスパイト)に関する業務		

利用状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用人数(年度末)(人)	37	37	38	40	42
利用状況	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数(年度末)(人)	46	48	48		

(2)日常的モニタリング

実施方法		指導(随時)、月報等の確認(12回)、現地調査(4月、10月)、指定管理者へのヒアリング(10月)
実施結果	主な問題点	多様な障害者に対応できる体制を整備する必要がある。備品の老朽化に伴う不具合や故障が確認できる。
	上記に対する指定管理者への指導・助言内容	事業を安定的・継続的に行うために、必要に応じて修繕や備品の購入など適切な対応をとるよう助言した。
その他特記事項		

(3)セルフモニタリング

実施方法		面談(コロナの為、三者面談、電話又は書面にて実施)
実施結果	面談内容	実施時期:令和4年2、3月 実施方法:利用者及び保護者と面談を実施(三者面談、電話又は書面) 内容:①今後の就労希望はあるか ②服薬の状態について ③現在のサービス、今後のサービス ④呼称について ⑤行事の金額について ⑥自立生活支援での電子レンジやトースターの支援について ⑦相談したいこと
	上記の回答内容及び対応状況	主な回答及び対応 ・コロナが落ち着いたら移動支援を考えたい方が2名いたので、随時相談員と連携をしていくこととした。 ・感染対策のマスク着用が難しいのでどうしたらよいかという相談について、アクリルパネル使用や壁側の席で対応していくこととした。 ・利用者本人における新型コロナウイルス感染症の理解が難しいのでどうしたらよいかという相談について、施設での利用者様向けのポスター掲示等や手指消毒の定期時間を定めるなど対応をした。 ・作業内容によって工賃が安いなどあるかという相談について、作業内容ではなく、能力(技術、精度、理解、効率)での評価をして支払いをしていることを説明した。
その他特記事項		

指定管理者モニタリングシート

令和4年5月(令和3年度実績)

(4) 評価・今後の対応

単年度の評価	法令等の遵守	B	管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
	適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	B	自主事業の実施状況	B
	運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	B	施設の維持管理状況	B
	施設の利用状況(稼動状況、事業計画の達成度など)	A	保守管理の実施状況	B
	評価の理由・今後の対応	施設の管理運営が適切に行われていることに加え、新たな自主製品の製作にも積極的に取り組んでいるため。		

(4) 評価・今後の対応の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「-」とする。

- A: 協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B: 概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C: 協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- : 実施していない。